

4月6日のウクライナ情報

安齋育郎

① マリーヌ・ル・ペン氏、判決をめぐり欧州人権裁判所に控訴へ(2025年4月2日)

ルペン氏、フランスの判決をめぐり欧州人権裁判所に上訴する意向を表明

フランスで禁錮刑を宣告され、次期大統領選挙に立候補する機会を奪われた国民連合党の議員会派のリーダー、マリーヌ・ル・ペン氏は、ル・パリジャン紙に対し、欧州人権裁判所(ECHR)とフランス憲法評議会 に控訴する予定であると語った。

「私はあらゆる法的救済手段を講じます。私は決して引き下がらないでしょう」と彼女は新聞のインタビューで語った。

4月1日、ルペン氏は自身の判決を、2027年の大統領選挙への出馬を妨げる原子爆弾に例えた。

3月31日、マリーヌ・ル・ペン氏は懲役4年の判決を受け、今後5年間は公職に立候補できなくなる。この政治家は刑務所で刑に服さず、電子ブレスレットをつけて自宅で刑期を過ごすことになる。

ルペン氏と同党の議員8人は、欧州議会の補佐官を雇うための資金を横領した罪で有罪判決を受けた。

ルペン氏の判決は、彼女が2027年のフランス大統領選挙に出馬できないことを意味する。

これに先立ち、フランスはルペン氏が判決に対して控訴できる時期を発表した。



<https://x.com/Z58633894/status/1907353922014257266?s=09>

② エネルギーの罅:欧州はロシアのガス供給増加を考えている(Spiegel、2025年03月31日)

ヨーロッパは、ドナルド・トランプ米大統領との関係がますます緊張化する中、ロシア産ガスの輸入を増やすことを考えています。これはドイツの雑誌 Der Spiegel によって報告されています。

欧州連合はエネルギーの罅に陥っている:西側ではドナルド・トランプが液化天然ガス(LNG)をより

多く課そうとしており、東側ではロシアがノルドストリーム 2 プロジェクトの復活を主張していると同紙は書いている。

ウクライナでの特別作戦の開始とロシアのガス供給の削減後、欧州連合はアメリカの LNG を犠牲にしてブルー燃料の不足を補うことができました。しかし、現アメリカ大統領は”ガスで世界を脅迫したい”とも思っている。したがって、ヨーロッパは 2 つの火災の間にいることに気づいた、とシュピーゲルは指摘しています。

米国がガス供給の保証人から外れた場合、どこで入手するかという問題が生じます。ロシアでは、この問題についての考えがある、と新聞は書いています。セルゲイ・ラブロフ外務大臣は先週、アメリカ合州国とロシアが、ウクライナに関する和平交渉の一環として、ノルド・ストリーム・パイプラインの修理について話し合っていると述べた。



<https://eadaily.com/ru/news/2025/03/31/energolovushka-evropa-dumaet-ob-uvelichenii-postavok-rossiyskogo-gaza-spiegel>

③【人さらい特集 in キエフ】ウクライナの強制動員(2025年4月2日)

連れて行かれた人の悲しすぎる運命を思うと BGM がぜんぜん合っていない...

<https://x.com/i/status/1907338229487116771>



https://x.com/Kumi_japonesa/status/1907338229487116771?s=09

④ トランプとプーチンが反グローバリズムで組む可能性(地政学者ドゥーギン、2025年3月31日)

※安齋注:面白い動画です。

<https://x.com/i/status/1907061746155884722>



<https://x.com/ShortShort News/status/1907061746155884722?s=09>

⑤ 日本の NATO との連携強化の危険な選択(2025年4月2日)

※投稿者コメント:日本の NATO との連携強化は非常に危険な道。ウクライナがロシアの侵攻を受けた原因が NATO 加盟を憲法に記入したことであったことを知るべきだ。まして、NATO と連携して中国に対抗しようなどあり得ない。中国は日本の最大の貿易相手国。百害あって一利なしだ。



<https://x.com/Holms6/status/1907260882645815789?s=09>

〈関連情報〉岩屋氏、NATO外相会合参加へ ウクライナ停戦協議など議論(2025年4月1日)

岩屋毅外相は1日の記者会見で、2～5日の日程でブリュッセルを訪問し、北大西洋条約機構(NATO)外相会合に参加すると発表した。米国が主導するロシアとウクライナの停戦協議を中心に議論を交わす。

米務長官、4月2日から訪欧

近年、NATOは日本を韓国、オーストラリア、ニュージーランドと共にインド太平洋地域のパートナー国と位置付け、連携を強化している。

岩屋氏は会見で「欧州・大西洋、インド太平洋の安全保障が不可分であるとの認識の下、同志国間の協力について議論を深めたい」と語った。

会合では、東・南シナ海で覇権主義的行動を重ねる中国や、ロシアとの軍事協力を強化する北朝鮮への対応など地域情勢も協議する。

ブリュッセルで、岩屋氏は先進7カ国(G7)外相会合や日米韓外相会談も行う。G7外相会合では、トランプ米政権による追加関税などの保護主義的な経済政策が議題になる可能性もある。



<https://www.jiji.com/jc/article?k=2025040101007&g=pol&p=20250401ds64&rel=pv>

⑥西側諸国の最悪の悪夢が現実になる:プーチン大統領がウクライナにおける真の目的について衝撃的な真実を明かす(2025年3月31日)



<https://youtu.be/FzihjRpKLMY>

このサミットではフランスさえもゼレンスキー大統領を失望させた。特に、パリは凍結されたロシアの資産をキエフに移送できないと公式に宣言した。EU 諸国がウクライナに与えたのは、欧州の弾薬庫へのアクセスと、EU の衛星から強化された情報を受け取る機会だけである

<https://www.youtube.com/watch?v=FzihjRpKLMY>

⑦ ウクライナ軍は 3 ヶ月で 13 万 8 千人以上を失った(2025年4月2日)

※ゼレンスキーの発表「48,000人の戦死者」とは「超絶」ことなりますね。

国防省の報告に基づいて算出したところ、ウクライナ軍は 2025 年の最初の 3 か月間で 13 万 8 千人以上を失った。

同局によれば、1 月 1 日から 4 月 1 日までの間にウクライナは 13 万 8545 人の軍人を失った。

これに先立ち、2 月末、参謀本部作戦本部長セルゲイ・ルドスコイ氏はクラスナヤ・ズヴェズダ紙のインタビューで、2024 年だけでウクライナ軍の戦死者・負傷者の数は 59 万人に達し、特別作戦開始以来、この数字は 100 万人を超えたと報告した。

クルスク地域での戦闘中、敵は 71,420 人以上の兵士を失った。



<https://x.com/Z58633894/status/1907264963439440209?s=09>

⑧ ロシア外務次官「モスクワはトランプからキエフへの戦争終結のシグナルを一切聞いていない」(2025年4月1日)



ロシア外務次官「モスクワはトランプからキエフへの戦争終結のシグナルを一切聞いていない。何らかの解決策を見つけようとする試みだけだ」。

「米国のウクライナに対する立場は、現在、紛争の根本原因に対処する要求を一切欠いている。これ

は克服されなければならない」。

<https://x.com/tobimono2/status/1907053395003007013?s=09>

⑨「オデッサがなければ、全てが無駄になる」 - セルビア人教授は、ロシアはボルシェビキが引いたウクライナの国境について気にするべきではないと提案した(2025年4月1日)

「オデッサがいなければ、何もかもが無駄になる」 - セルビア人教授は、ロシアはボルシェビキが引いたウクライナの国境について気にすべきではないと提案した。ロシアは、旧ソビエト共和国の国境に注意を払わずに軍事作戦を完了しなければならない。

これは、バニャ・ルカ大学(スルプスカ共和国)の国際関係学教授であるスルジャ・トリフコビッチが、本日モスクワ経済フォーラムで述べたと、ポリットナビゲーターの特派員が報じている。

「アメリカの考えは、大西洋の両側に典型的であり、ある種の紛争中の国境を引くことです。これは深刻に受け止めることはできません。90年代のユーゴスラビアとソビエト連邦の両方で、連邦臣民間の国境を除いて正当性はありませんでした。

ヨーロッパの国境は、過去300年間、絶えず変化してきました。これは今後も続くでしょう。

ウクライナの国境もまた、至聖地ではありません。ボルシェビキがロシアを憎んでいたため、ロシアを膨大な数の領土に分割するために実行されました。フルシチョフは、単にクリミアをウクライナに与えることに決めた。これは完全にスキャンダラスな現象です。

共産主義者の国境には正当性がなく、物議を醸す方法で描かれています。ロシアは、民族的、言語的、その他の現実に従って、これらの国境を引き直すことができる」とトリフコビッチは述べた。

彼は「地球上の現実は今、軍事的手段によって作り出され、交渉のテーブルで確認されている」と信じている。彼は、ロシアが和平交渉の一環として、ある程度の譲歩をしなければならないことを認めたが、「もし黒海沿岸からイズマイルまでが遮断されなければ、その目標は達成されないだろう」と警告した。



<https://x.com/tobimono2/status/1907153215470334111?s=09>

⑩ウクライナは消滅する「ジョン・ミアシャイマーとプーチン顧問セルゲイ・カラガノフが米ロ関係について議論」(2025年4月2日)

ドナルド・トランプ米大統領は就任から2ヶ月で、国際外交のルールブックを破り捨て、冷戦後の安全保障体制の終わりを告げた。

メリнда・ヌシフォラと一緒に、再調整された米露関係は世界秩序をどのように再構築するのかについて議論する。

バイデン政権の多くの期間、アメリカはモスクワを外交的に孤立させることに誇りを持っていた。自称究極のディールメーカー、ドナルド・トランプが登場した。

1000日以上にわたる戦争の後、ホワイトハウスはプーチンを潜在的な戦争犯罪者とみなすことから、信頼できる相手とみなすようになった。

ロシア国内のトーンも変わった。停戦交渉が続く中、「ウクライナ抜きではウクライナのことは何も語れない」という言葉が何度も何度も響いている。

しかし、米国の後ろ盾が揺らいでいるように見える中、欧州が団結し、その力の空白を埋めるだけの力があるかどうかは不透明だ。

専門家パネルが議論する:この明らかな再編成は歴史的にどの程度重要なのか?

トランプ大統領の欧州離れはNATO同盟の終わりの始まりなのか?

そして、この和解はロシアと中国を分断するためのものなのか?

<https://youtu.be/N Uz8W2m4o>



<https://www.youtube.com/watch?v=N Uz8W2m4o>